

I

印象材

印象とは、歯や粘膜面などの形状を正確に陰型として再現することです。
印象を採得するための印象材は、用途や特性等によって数々の種類があります。



1

印象材の用途

●有歯顎印象



●無歯顎印象



●咬合採得



2

印象材の種類

種類	主用途	主成分	ポイント	ジーシー製品
アルジネート印象材	概形印象	アルギン酸塩 石こう	<ul style="list-style-type: none"> 精密印象には使用しない 寒天との連合印象により精密印象が採れる 寸法安定性が劣り取り扱いには注意を要する 	アローマファイン プラス アローマファイン ミキサータイプ ハイテクニコール アローマペースト
寒天印象材	精密印象	寒 天	<ul style="list-style-type: none"> 加熱することにより溶解する 	アローマロイド
シリコン印象材 ・縮合型 ・付加型	精密印象	縮合型シリコン	<ul style="list-style-type: none"> ペーストタイプ 精密な印象が得られるが、若干収縮が大きい 	———
		付加型シリコン (ビニルシリコン)	<ul style="list-style-type: none"> ペーストタイプ 無味無臭 (フュージョンIIはミントの香りを付与) 縮合型の収縮量を改良したタイプが付加型 	フュージョンII/フュージョンII 370 エクザファイン/エクザミックスファイン エクザファスト エクザハイフレックス エクザインプラント エクザデンチャー エクザデンチャーボーダータイプ エクザバイトII/III ソフトフレックス エクザクリア
コンパウンド印象材	概形印象	天然樹脂	<ul style="list-style-type: none"> 弾性を必要とせず、アンダーカットのない印象に使用 精度は劣る 	インプレッショントレーコンパウンド モデリングコンパウンド
	筋圧形成	合成樹脂	<ul style="list-style-type: none"> 加熱により軟化する 	イソコンパウンド ペリコンパウンド

弾性印象材

ゴム質印象

縮合型

付加型

非弾性印象材

3 印象材の用語解説

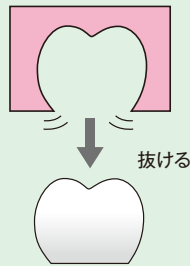
弾性

加圧された時の変形量、一般に印象ケースにより選択

アンダーカットのあるケースには「非弾性印象材」は使用できません。

弾性印象材

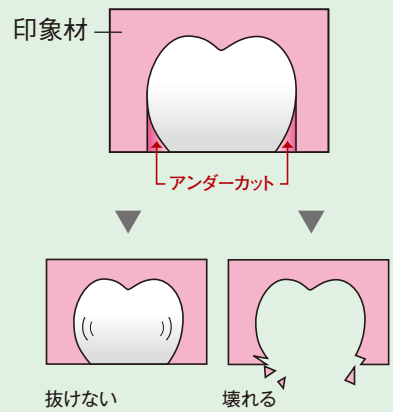
歯冠・歯列のようなアンダーカットのある症例



抜ける

非弾性印象材

総義歯のようなアンダーカットのない症例



抜けない

壊れる

精度

印象材の種類により印象精度は異なる

クラウンやブリッジなどの適合は、ミクロン単位の精度が要求されるので、精密印象が必要です。しかし、印象材によりその精度は異なりますので、その特性を認識したうえで使用します。

精密印象

- 寒天印象材
- シリコーン印象材

概形印象

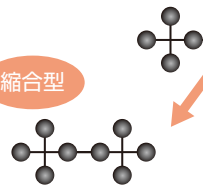
- アルジネート印象材
- コンパウンド印象材



シリコーン印象材 縮合型と付加型

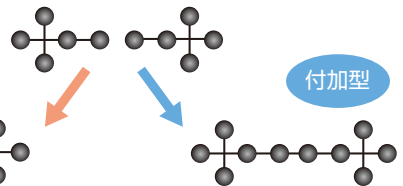
同じシリコーン印象材でも精度が異なります。

縮合型



重合時、副生成物のアルコール等が抜けてその分縮みます。

付加型



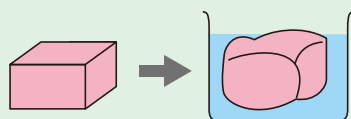
副生成物ができないので印象材自体の収縮が少ない。

寸法安定性

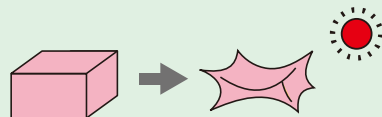
印象採得後、時間の経過とともに収縮する

時間の経過とともに、印象は収縮し変形の危険性が増えます。水分が多く含まれるアルジネート印象材や寒天印象材は、印象後ただちに石膏を注入するのが基本です。また、寸法安定性は、印象材の種類によって変わってきます。

膨張



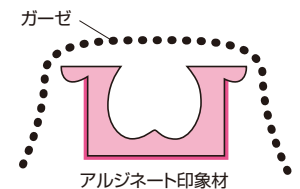
乾燥



アルジネート印象材の保管方法

(湿度100%保管法)

- ・ 湿らせたガーゼに包む
- ・ 湿らせたガーゼを敷いた密閉できる容器に入れる



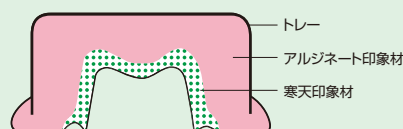
アルジネート印象材

連合印象

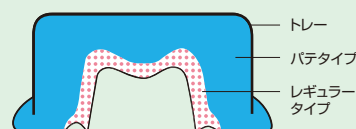
性質の異なる印象材を組み合わせて印象を採る印象法

それぞれの印象材の長所を生かして、より正確な印象を採るために用いられる印象法です。

寒天+アルジネート印象材



シリコーン印象材(例:レギュラータイプ+パテタイプ)



アルジネート 印象材

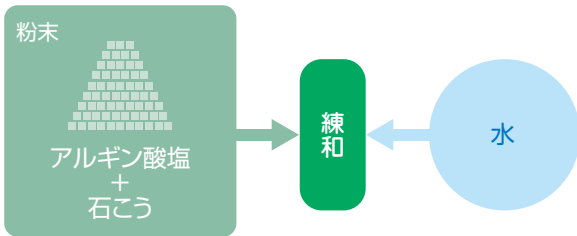


アルジネート印象材は水溶性のアルギン酸塩と石こうを反応させて、不溶性のアルギン酸カルシウムとして硬化させる印象材です。

アルジネート印象材は操作が簡単ですが、コロイド質ですから硬化後の安定性が少なく、強度的にも充分でないのが難点です。また親水性がありますから、粘膜面及び、注入する石こう泥への親和性の良さを生かして、印象採得後はできるだけ早く石こうを注入した方が良い結果を得られます。

現在はその手軽さを生かし、有歯顎の概形印象、寒天印象材との連合印象に広く使用されています。

■ 硬化機構

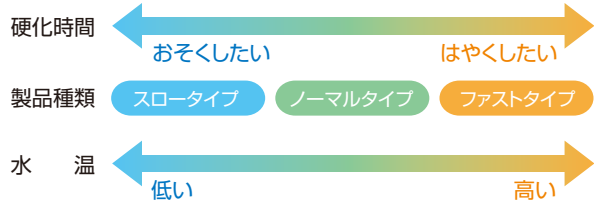


■ 硬化時間

夏場の水温が高い時は
スロータイプを...



硬化時間は水温・製品種類で調整が可能です。



■ 製品および関連製品



アルギン酸塩印象材

アローマファイン プラス

成分の配合バランスの最適化により、すばやく粉と液がなじみ、粉の飛び散りもなく、練和作業がスピーディーに完了します。地域や季節などによって硬化時間を選ぶノーマル、ファスト、スローの3タイプをご用意しています。



自動練和機専用アルギン酸塩印象材

アローマファイン ミキサータイプ

水との馴染みやすさを大幅に向上させるなど、自動練和に適した性能を持つ自動練和器専用のアルギン酸塩印象材。気泡やタマのないなめらかなペーストに仕上がります。



アルジネート印象材・石こう自動練和器

スーパーらくねる Fine

アルジネート印象材と石こうそれぞれの特性に合わせた専用カップと練和モードの開発により、1台で2タイプの練和が可能。可変式回転により、常に一定した練和泥が短時間に得られます。



アルギン酸塩印象材(変色性)

ハイ-テクニコール

ゲル化が完了するとブルーから白色へ変色。撤去のタイミングが一目で分かるアルギン酸塩印象材。特に弾性性質にすぐれています。温度によるゲル化時間の変化が少なく、いつも同じタイミングで使用できます。口腔内保持時間は約2分です。



Q & A

アルジネート印象材

Q アルジネート印象材に適した石こうは何ですか?

A 最も適している石こうは、ニュープラストーンIIなどの硬(質)石こうです。一部の超硬(質)石こうを使用すると、面あれの原因となります。(ただし、ニューフジロックは差し支えない)

Q アルジネート印象材を消毒するにはどうしたら良いですか?

A 流水下で洗浄後、次亜塩素酸ナトリウム0.5%水溶液に15分間浸漬して下さい。

寒天 印象材



寒天印象材は最も歴史のある弾性印象材です。その主成分はもちろん寒天ですが、量的には15%以下にすぎず、残りは水分が占めています。印象採得方法としては全部寒天印象法と寒天・アルジネート連合印象法の2種類があり、特に連合印象法は操作が容易で、安価なため、現在ポピュラーな印象法として多用されています。寒天印象材による印象は、前項のアルジネート印象材の場合と同様、粘膜や石こう泥への親和性は良いが、硬化後の安定性が低いため、印象採得後は速やかに石こうを注入しなければなりません。

■ 硬化機構

熱を加えることで溶解し、冷やすと硬化します。

溶解(ソル化)



硬化(ゲル化)



寒天印象材は海藻から抽出されています



■ 製品および関連製品



寒天印象材

アローマロイド

高品質の寒天を使用することで、これまでにないコシの強さを実現。圧接時に発揮される適度な流動性は、複雑なポストやマージン部の正確な印象採得を可能にしました。



Q & A

寒天印象材

Q 寒天の水分が蒸発し、痩せてしまったのですが、そのまま使ってもいいのですか？

A 水に漬けておくと、ある程度の太さには戻りますが、アルジネート印象材との接着が悪くなる事があるので、使用しない方が良いでしょう。

Q 寒天印象材注入のタイミングは？

A 1歯の場合はアルジネート印象材をトレーに盛り始めるとき、2~3歯の場合は練り始めるときです。

Q アルジネート印象材との接着があまり良くないのですがどうしてですか？

A ①寒天とアルジネート印象材の相性が悪い。
②圧接のタイミングが遅い。
③寒天が乾燥し、品質が劣化している。
④寒天、アルジネート印象材が硬すぎる。
⑤軟化の繰り返しにより寒天の弾力性がなくなっている。
などの場合は接着が悪くなります。

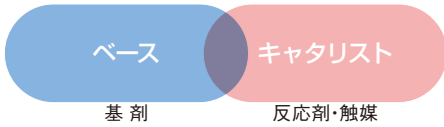
シリコーン 印象材



現在、精密印象用として主に使われているシリコーン印象材は、操作しやすく寸法精度も高いため、今日の主流と言えます。これには、「縮合型」「付加型」の2種類のものがあります。「縮合型」のシリコーン印象材は硬化時にアルコールを放出します。これに対し、「付加型」のシリコーン印象材は放出するものがなく、寸法安定性は最も優れていると言えます。とくに「親水性」に優れたタイプのシリコーン印象材は印象面とのヌレ性がよく、マージン歯肉縁下まで鮮明な印象が得られます。

硬化機構

- 2成分系(2ペースト)
GC製品/エクザファイン
フュージョンII

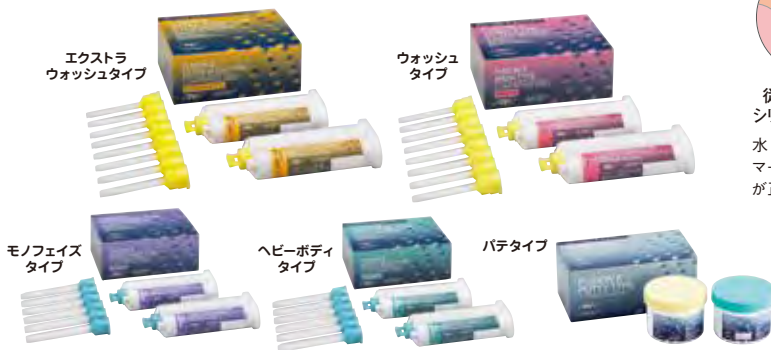


- ベース 基剤・・・印象材の骨格
- カタリスト 反応剤・・・基剤どうしを結合
触媒・・・基剤と反応剤の反応促進

ゴム質印象材



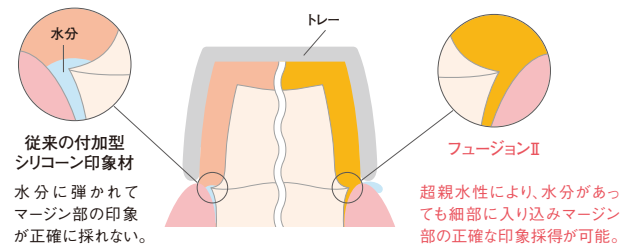
製品および関連製品



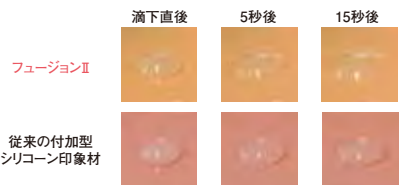
超親水性ハイブリッドシリコーン印象材

フュージョンII
〈エクストラウォッシュタイプ〉〈ウォッシュタイプ〉〈モノフェイスタイプ〉
〈ヘビーボディタイプ〉〈パテタイプ〉

印象精度を追求したシリコーン印象材とポリエーテル印象材が持つ優れた親水性を融合させ、さらにシャープな硬化特性と高い引裂強度を実現。フロー特性の異なる5種で、多様化する印象採得に対応します。



すぐに水分と馴染んでいることから、印象採得時の滲出液の影響を受けにくいことがわかります。



※硬化前の印象材に蒸留水を滴下し、水分との馴染みを比較。



超親水性ハイブリッドシリコーン印象材

フュージョンII 370
〈370モノフェイスタイプ〉
〈370ヘビーボディタイプ〉

フュージョンIIのすぐれた特性はそのままに、オートミキシングによる大容量タイプで、トレーマテリアルとして使用量が多く粘度が高い「モノフェイス」と「ヘビーボディ」の2種をご用意。自動練和器にセットするだけで、簡単・スピーディーに必要な量のみトレーに盛り上げることができます。容量は従来のカートリッジタイプの約8倍の370mLで、製品名の由来にもなっています。なお、自動練和器はレンフェルト社の「シンプレス」(日本歯科商社扱い)等をご使用ください。



フュージョンII370対応自動練和器

シンプレス

フュージョンII370を自動練和するレンフェルト社製の自動練和器です。(フュージョンII370、ミキシングチップは含まれておりません)

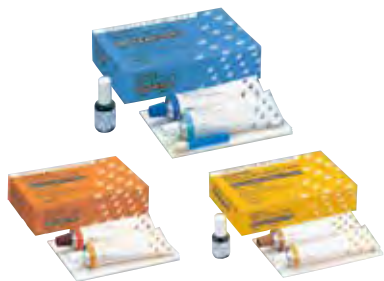
製造販売元: ㈱日本歯科商社
日本歯科商社お問合せ先
東京 03-3625-3111
大阪 06-6643-0085
※ジーシーでは販売しておりません。



印象材のヌレ性(疎水性と親水性)

ヌレが悪い(疎水性) ヌレが良い(親水性)





親水性ビニルシリコーン印象材

エクザファイン
 チューブ
 〈インジェクションタイプ〉
 〈レギュラータイプ〉
 〈レギュラーハードタイプ〉

親水性により、マージン部や歯肉線下まで素早く流れこみ、細部まで鮮明に印象採得できます。流動性の異なる3タイプから最適なタイプ選択が可能です。シャープな硬化で、精度の高い印象採得が行えます。



親水性ビニルシリコーン印象材

エクザミックスファイン
 カートリッジ
 〈インジェクションタイプ〉
 〈レギュラータイプ〉
 〈レギュラーハードタイプ〉

ペーストが混ざらない独立式ノズルを採用したカートリッジタイプ。先端部の硬化を防止しますので、硬化による詰まりがありません。「ミキシングチップⅡ」、「カートリッジディスペンサーⅡ」が対応します。



ビニルシリコーン印象材(パテ状1次印象用)

エクザファイン(パテタイプ)

軟性が高く、しかもベース、キャタリストともベタつきがありませんから、指先でのねつや歯列への圧接が容易。エクザファインシリーズの各タイプに緊密に一体化します。



親水性ビニルシリコーン印象材(高弾性)

エクザハイフレックス
 チューブ
 カートリッジ
 〈インジェクションタイプ〉
 〈レギュラータイプ〉〈トレータイプ〉

弾性は「エクザファイン」の2倍以上。口腔内はもちろんのこと破折が心配される石こう模型からも容易に撤去可能です。ペースト性状で効率性を追求したトレータイプは、硬化後の硬度がパテタイプに匹敵。寒天・アルジネート感覚の手軽さで、シリコーンによる1回印象採得法を可能にしました。



親水性ビニルシリコーン印象材

エクザファスト
 カートリッジ
 〈インジェクションタイプ〉
 〈レギュラータイプ〉〈パテタイプ〉

印象採得が、「エクザ(ミックス)ファイン」、「エクザハイフレックス」などの約半分の時間でできる親水性ビニルシリコーン印象材です。印象精度はそのままに、チェアタイムが短縮。患者さんの負担も軽減します。インレーやクラウン、ショートスパンブリッジなどの印象採得に最適です。



親水性ビニルシリコーン印象材(インプラント用)

エクザインプラント

エクザインプラントはインプレッションコーピングなどと模型との位置関係を正確に再現できるよう、自社従来の印象材より硬めに設計したインプラント専用印象材です。



親水性ビニルシリコーン印象材(口腔内粘膜印象用)

エクザデンチャー
 チューブ
 カートリッジ

わずかな印象圧で流動性を発揮する無歯顎印象用のビニルシリコーン印象材です。無負荷時はタレにくいため、操作性も良好。咬座印象法での仕上げ印象(ウォッシュ)はもちろん、「エクザデンチャーポータータイプ」との組み合わせで個人トレーを用いたポーターモーディング法にも適しています。



親水性ビニルシリコーン印象材(辺縁形成用)

エクザデンチャーポータータイプ
 カートリッジ

カートリッジタイプのため均一な厚さで盛り上げが行え、治療時間が大幅に短縮できます。「エクザデンチャーポータータイプ」で辺縁形成した後に、「エクザデンチャー」で仕上げ印象を行うことにより、口腔粘膜の形状を的確に再現した印象採得が簡単に行えます。



咬合採得用ビニルシリコーン印象材(ファスト&ハードタイプ)

エクザバイトⅢ

従来のエクザバイトⅡをベースに、よりシャープな硬化特性を実現。口腔内保持時間も30秒と短く、患者さんにもやさしい設計になっています。さらに硬度アップにより硬化後のトリミング操作も容易で、精度の高い咬合採得が行えます。



咬合採得用ビニルシリコーン印象材

エクザバイトⅡ

高い硬度を持ちながらも適度な弾性性質により、トリミングが容易に行える咬合採得用のシリコーン印象材。操作余裕時間を確保しながらも、口腔内保持時間は短いので、患者さんの負担も軽減されます。



高弾性付加型シリコーン印象材

ソフトフレックス

診療器材・設備の不足しがちな訪問診療の印象採得で、高い精度と再現性、感染症対策への配慮などを実現。訪問診療での義歯床の印象採得に特化した低価格高弾性シリコーン印象材です。既製トレーとパテを併用する新たな臨床術式で正確な印象採得が行えます。



咬合採得用透明シリコーン印象材

エクザクリア

咬合採得/多用途シリコーン印象材です。限りなく高いクリアさを実現したことで、顎位・咬合状態を確認しながらの咬合採得、高強度硬質レジンブリッジ(エクスペリア)作製時にファイバーネットを支台歯に圧接しながらの光重合や間接法によるプロビジョナルレストレーション(テンブスマート)作製時の光重合など、ラボワークのシリコーンコア材としても使用できます。

製品および関連製品



フュージョンII アドヒーズブ

フュージョンII専用のレジントレー用アドヒーズブです。薄い被膜と強固な接着力で、より精度の高い印象採得が行えます。(金属トレには従来のアドヒーズブをご使用ください)



エクザファイン用アドヒーズブ

主にエクザシリーズに使用するアドヒーズブです。



エクザインプラント アドヒーズブ

エクザインプラント専用のアドヒーズブです。個人トレ(レジン製)と強固に接着します。

●各種ビニルシリコーン印象材とアドヒーズブ

アドヒーズブ	トレの種類	シリコーン印象材		
		フュージョンII	エクザファイン エクザミックスファイン エクザファスト エクザハイフレックス	エクザインプラント
エクザファイン用 アドヒーズブ	レジントレー(各個トレ) プラスチックトレ	△	○	△
	金属トレ	○	○	○
エクザインプラント アドヒーズブ	レジントレー(各個トレ) プラスチックトレ			○
	金属トレ			
フュージョンII アドヒーズブ	レジントレー(各個トレ) プラスチックトレ	○		
	金属トレ			

○：最適
△：使用可能



Q & A

シリコーン印象材

Q シリコーン印象材を消毒するにはどうしたら良いですか？

A 流水下で洗浄後、次亜塩素酸ナトリウム0.5%溶液またはグルタラル（ハイドリット）2%溶液に30分浸漬します。
または過酢酸製剤（アセサイト）0.3%溶液に10分浸漬します。

Q シリコーン印象材の硬化を遅らせる方法がありますか？

A ご使用前に冷蔵庫に置いて冷やすことで硬化を遅らせることができます。

Q 面あれや硬化遅延が起きました何が原因ですか？

A 原因の一つとして、硬化を阻害する以下のような材料や薬剤に接触したことが考えられます。

- ①ラテックス製グローブ
- ②縮合型シリコーン印象材のキャタリスト
- ③ポリサルファイド印象材
- ④ユージノール系材料
- ⑤フリージノールテンポラリーバック
- ⑥未硬化の常温重合レジン
- ⑦局所表面麻酔剤（リドカインなど）のスプレータイプ及び軟膏タイプ
- ⑧水分、グリセリン、ハンドクリーム

Q パテタイプを素手で練っても良いですか？

A 添付のプラスチックグローブ、またはポリエチレン製のグローブをご使用ください。ラテックス製グローブへの接触は、硬化遅延やこれに伴う面あれを起こします。ラテックス製グローブを常用している場合、これはずしてねつ和しても、手に硬化阻害物質が残留し、硬化遅延を起こすことがあるので注意してください。もし、素手でねつ和する場合には、石けんなどで十分に手指を洗い、乾いた状態で行ってください。その他、ハンドクリームをつけた手でねつ和でも、同様の不具合が起こることがあるため注意してください。

Q パテタイプを使用した時石こう模型が面あれしますが、どうしたら良いですか？

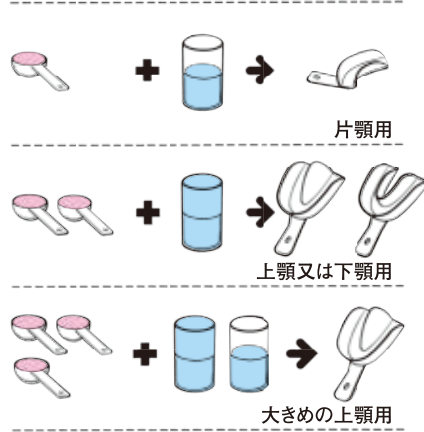
A パテタイプを使用して表面に露出している場合、石こう注入のタイミングが早いと印象材の硬化反応時によって発生する水素ガスの影響により、石こう模型の表面に気泡が発生する恐れがあります。
・連合印象で印象面にパテタイプが露出している場合
→印象採得後60分程経過してから石こうを注入してください。

印象材1 アルジネート印象材「アローマファイン プラス(ノーマルセット)」の取り扱い

①トレーの選択・試適



②計量の目安



③粉末の計量



専用容器「チャッピー」より、粉末がよくほぐされたフワフワの状態ですり切ります。すり切る時も押し付けずに軽く、垂直に静かに行います。

④水の計量



夏期、冬期の水温の変化によるゲル化時間への影響を防ぐため、常時23℃程度の水を容器に入れて用意しておくとい良いでしょう。

⑤練和基準



粉末の入ったラバーボールに水を入れます。この時練和操作をスピーディーに正確に行えるよう、スパチュラ、ラバーボールはしっかりと保持します。

⑥-①練和



練りはじめはスパチュラを静かに動かし、粉末と水をなじませます。いきなり激しく練ろうとすると粉末が飛散するので注意します。

⑥-②練和



大きな気泡を抜くために、スパチュラの湾曲した部分をラバーボールの壁に押しつけるようにして、20～30秒で練和完了します。

⑦トレーへの盛り上げ



⑧歯への塗布



⑨トレーの圧接



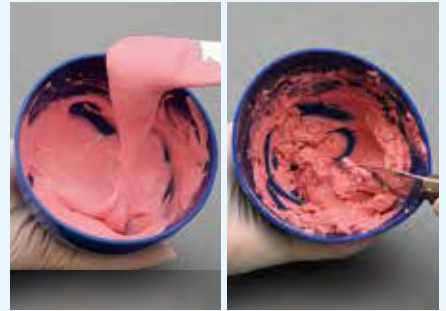
⑩印象の洗浄



採得した印象は軽く水洗し、唾液や汚物等を流し落とした後、よく水滴を取ります。印象が汚染していると、模型面が悪くなるので、水洗は必ず行います。

Topic

■粉末と水の量比についての注意



水の量が多すぎる場合、練和物がやわらかすぎ、患者の咽頭に流れ込むことがあります。水の量が少ない場合は、ボンボンして練りにくだけでなく、印象面もあれてしまいます。

印象材2 「スーパーらくねる Fine」の操作方法



1 アルジネート／石こうの練和モードを選びます。



2 練和時間をセットします。



3 練和カップに、水→粉末の順に入れ、フタを確実にロックします。



4 練和カップをセットします。



5 スタートキーを押して練和開始します。



6 付属のスパチュラで一度に取り出します。

印象材3 寒天印象材「アローマロイド」の取り扱い

①-① シリンジの準備 (シリンジタイプの場合)



ベリシリンジのヘッド及びピストンをはずし、アローマロイドをシリンジ内に挿入します。

①-② シリンジの準備 (シリンジタイプの場合)



ピストンをセットし、スティックが先端より5mmほど出るまで押した所でヘッドをしっかりとはめます。

② ボイリングとストレージング



100℃の煮沸水で5～10分間ボイリングします。ボイリング後は恒温槽60～63℃の温水中に保存します。

③ アローマロイドの温度確認



アローマロイドは、注入する前に手に少し押し出し、盛り上がる程度の硬さ、適温等を確認します。

■ 寒天コンディショナーの場合



溶解温度・溶解時間が各機種によって異なります。メーカーの指示にしたがって、正しく設定してください。

印象材4 シリコン印象材「フュージョンII(パテタイプ・ウォッシュタイプ)」による印象採得

①パテタイプの計量



黄色のベース計量スプーン1杯に対して、緑色のキャタリスト計量スプーン1杯の割合でパテを取り出します。

②パテタイプのねつ和



指先を用いて約20秒間で手早くねつ和します。均一なグリーンになれば練り上がりです。

③トレーへの盛り上げ



穴あきトレーに練和したパテタイプを盛り、その上にスペーサーを置き圧接します。

④概形印象採得



3分間保持して硬化を待ち撤去します。

⑤ウォッシュタイプの注入



⑥ウォッシュタイプの盛り上げ



トレー上の硬化したパテタイプにウォッシュタイプを盛り上げます。

⑦連合印象採得



口腔内に圧接し、3分間保持します。

⑧印象の洗浄



口腔内から撤去し、水洗した後、乾燥させ指定の時間内(最短10分~最長2週間まで)に石膏(超硬石膏又は硬石膏)を注入します。

印象材5 個人トレーを用いたシリコン印象材「フュージョンII(モノフェイスタイプ)」による印象採得

① 接着材の塗布



個人トレー内面及び辺縁に専用のアドヒーズブ(接着材)を均一に塗布します。この時あまり厚く塗り過ぎないように注意します。

② 接着材の乾燥



エアースリンジを用い、指先で触れてもベタつかなくなるまでアドヒーズブ(接着材)を乾燥させます。

③ モノフェイスタイプの注入



④ 個人トレーへの盛り上げ



トレーにモノフェイスタイプを盛り上げます。

⑤ 単一印象採得



口腔内に圧接し3分間保持します。

⑥ 印象の洗浄



口腔内から撤去し、水洗した後、乾燥させ指定の時間内(最短10分～最長2週間まで)に石膏(超硬石膏又は硬石膏)を注入します。

印象材6 シリコン印象材「エクザファイン チューブ(インジェクションタイプ)」の取り扱い

① エクザファインの計量



インジェクションタイプのベースとキャタリストを練和紙の上に等長に取り出します。
※レギュラータイプの硬化時間を延長させる場合は付属のリターダーにより調整が可能です。詳細は下表の通りです。

② エクザファインの練和



最初はスパチュラを30度くらい立てて混ぜ合わせ、混ぜてきたら気泡を押しつぶすようにしながら集めたり広げたりして、色が均一になるまで約30秒間で練和します。

③ シリンジへの填入



練和した印象材を練和紙の上に広げ、プラスチックシリンジに約半分掻き取るよう(こしながら)入れます。(シリンジのツバに印象材がつかないように、練和紙に対して70～80度位傾けてください)

④ エクザファインの注入



⑤ エクザファインの盛り上げ



トレー上の硬化したパテタイプに盛り上げます。

レギュラータイプに使用した場合の遅延効果(室温23℃)

リターダー滴数	操作余裕	硬化終了
0	2分15秒	4分15秒
1	2分30秒	4分30秒
3	3分5秒	6分00秒
5	3分40秒	7分15秒

(ベース、キャタリスト各5cmずつを計量して練和した場合)
※エクザハイフレックス、エクザデンチャーも同様の効果があります。

印象材7 カートリッジディスペンサーIIの操作方法

■カートリッジディスペンサーII



ディスペンサーIIのリリースレバーを押し上げて、プランジャーを手前一杯まで引きます。



ディスペンサーIIのカートリッジホルダーを引き上げて、カートリッジ底部のV字溝のある側を下にしてディスペンサーIIに装着し、カートリッジホルダーを押し下げカートリッジを固定します。



リリースレバーを押し上げ、プランジャーをカートリッジとかみ合うところまで手で押し込みます。



カートリッジのキャップを反時計回りに1/4回転させてから下方向に折るようして取り外します。



少量押し出してカートリッジ先端よりベースとキャタリストが均等に出ることを確認します。



ミキシングチップIIをカートリッジ先端のV字溝に合わせて挿入し、奥まで押し込みます。さらにミキシングチップII固定用キャップ部をカートリッジに対して時計方向に1/4回転させて確実に装着します。



ハンドルを数回操作し、材料を押し出します。使用後は、ミキシングチップIIがそのままキャップの代わりになります。



カートリッジディスペンサーII

カートリッジタイプの材料の専用ディスペンサーです。

- ⑧ 2回目以降の使用に当たっては、新しいミキシングチップIIを装着する前に少量押し出し、カートリッジ先端よりベースとキャタリストが均等に出ることを確認します。もし、印象材が出ない場合は、カートリッジ先端の硬化した印象材を除去してください。
- ⑨ カートリッジを交換する場合は、リリースレバーを押し上げてプランジャーを手前一杯まで引き、カートリッジホルダーを引き上げてカートリッジを取り替えます。

■ミキシングチップII/ミキシングチップノズル



サイズは用途に合わせてLL、L、S、SS、SSSの5種類。カートリッジタイプの製品に対応します。SとSSには、ポストなどの印象採得に便利な「ミキシングチップノズル」を装着できます。

ミキシングチップIIの目安

		SSS	SS	S	L	LL			SSS	SS	S	L	LL
フュージョンII	エクストラウォッシュタイプ	●	●	●			エクザデンチャー			●	●	●	
	ウォッシュタイプ	●	●	●			エクザデンチャーポータータイプ				●	●	●
	モノフェイスタイプ			●	●	●	ソフトフレックス				●	●	●
	ヘビーボディアタイプ			●	●	●	GNICAD シリコン			●	●	●	
エクザミックスファイン	インジェクションタイプ	●	●	●			エクザバイトII				●	●	●
	レギュラータイプ	●	●	●	●	●	エクザバイトII				●	●	●
	レギュラーハードタイプ			●	●	●	エクザクリア				●	●	●
エクザファスト	インジェクションタイプ	●	●	●			リラインII	ソフト				●	●
	レギュラータイプ			●	●	●		エクストラソフト				●	●
エクザハイフレックス	インジェクションタイプ	●	●	●			エクストラエクストラソフト				●	●	
	レギュラータイプ			●	●	●	フィットチェッカーアドバンス				●	●	
エクザインプラント	トレートタイプ			●	●	●	ブルーシリコン				●	●	
				●	●	●	ブルーシリコンローフロー				●	●	

● = 製品包装に付属の標準品です。● = 使用可能なチップです。